

News Letter

【畑で育てるエネルギー】

松前町のバイオマス



ひまわり畑

松前町では、「えひめバイオマスプロジェクト」のモデル町として、町花であるひまわりを栽培して種から油をとり燃料などに活用する「松前町バイオマス推進事業」を平成18年度から実施しています。当初、西古泉と中川原地区で開始した取組は、その後東古泉地区が参加し、平成25年度には約80アールで栽培したひまわりから1440の食用油ができました。出来たひまわり油は、町内6カ所の保育園の給食や地域の文化祭などで揚げ物用の油として利用した後、バイオディーゼル燃料として公用車1台に利用しています。ひまわりバイオマス事業は、農地の保全が図られるだけでなく、ゴミの削減や地球温暖化の問題を再認識するきっかけとなるほか、地区のみなさんが共同で作業することで地域の活性化にもつながります。

現在のバイオマス燃料の利用は公用車に限られていますが、「将来は給食センターなどのボイラーにも使用することで需要を増やし、ひまわりの作付拡大につなげていきたい」と同町町民課の中矢さんは言います。

同町ではこの他にも、家庭から出る天ぷら油を、町内6カ所の回収ボックスで回収しバイオディーゼル燃料に精製したり、せん定枝を資源ゴミとして分別収集し、土壌改良材として活用する取組を行ってきました。このような個別の取組を総合的に検討し拡充していくため、「松前町バイオマスタウン構想」を



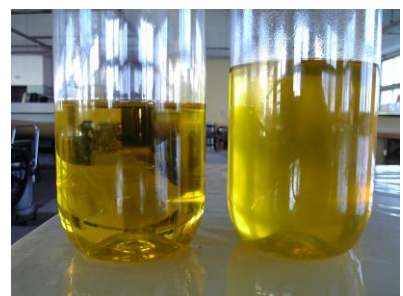
ひまわりの定植作業



ひまわりの収穫作業



ひまわり油を使って調理



精製したバイオマス燃料



バイオマス燃料で走る公用車

制定し平成21年3月にバイオマスタウンに認定されました。

ゴミを減らし二酸化炭素を削減するだけでなく、地域の活性化にも期待できるバイオマスが、新たなエネルギーとして注目されています。

トピックス

【親子クッキングコンテスト四国大会】

12月14日、「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト」四国大会が四国ガス・ガス生活館ピポット松山で開催されました。この大会は、ガス会社や住宅関連業者などをつくる団体「ウィズガスCLUB」が、親子と一緒に調理することでコミュニケーションを深めることや食への関心を高めることなどを目的に毎年開催しているもので、今回で8回目を迎えます。



愛媛県代表 村上さん親子



わがまち・わが家のかんたんごはん



高知県代表 藤原さん親子



秋も元気！もりもり美味しいうちのごはん



香川県代表 岡田さん親子



四季ボナーラ、讃鶏湯、ぐるぐるラタトゥーユ、いりことごぼうの梅え棒



徳島県代表 岩田さん親子



徳島人のぼくがシェフ 地産地消のお手軽メニュー

愛媛県代表の村上明理さん（小1）・聖名さん親子は、自家製味噌を使った「わがまち・わが家のかんたんごはん」で挑戦し、明理さんは小学1年生とは思えない手際の良さで調理していました。

審査の結果、徳島県代表の岩田直太朗さん（小4）・幸子さん親子の「徳島人のぼくがシェフ 地産地消のお手軽メニュー」が最優秀賞に選ばれました。審査員の方々は、「どのチームの料理もすばらしく選考には苦労したが、総合力で評価した」と話していました。最優秀賞に選ばれた岩田さん親子は、来年1月25日に大阪で行われる全国大会に、四国代表として参加します。

大会では四国各県の県大会を勝ち抜いた4組の親子が自慢の料理に腕を振るいました。調理の条件は、2000円の食材費で60分以内に盛りつけまで完了しなければいけません。審査は、料理、学校、食育の各部門から3名の審査員が、おいしさ、オリジナリティ、栄養バランス、調理方法、親子のチームワークなどを基準に選考します。



参加者のみなさん



農林業センサス

平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

- 農林業経営体調査（平成26年12月中旬～平成27年2月末）
- 農山村地域調査（平成27年4～6月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>

編集：中国四国農政局 松山地域センター

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1178 FAX(089)946-2991 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから）<http://www.maff.go.jp/chushi/maiml/index.html>